

海外連携校の教員との協働による国際フィールドワークの開発 ～Japan-Asean SGH Networkの可能性～



筑波大学附属坂戸高等学校
農業科 主幹教諭 建元喜寿

自己紹介

- 農業科・国際科の教員
- 岡山県の公立高校で2年勤務
- JICA青年海外協力隊
現職教員特別参加制度
(2008年～2010年)
- SGH推進委員会委員長



岡山県の農村部

学校紹介



創立:1946年 1学年4クラス

所在地は埼玉県

1994年～ 総合学科（日本初発）

2011年 ユネスコスクールに認定

2014年 スーパーグローバルハイスクール

2017年 日本語IBDP認定校

本日の内容：

留学・海外研修の充実（国際FW）
留学生交流の充実（国際シポジウム）
高大接続（WWLのイメージの検討）
グローバル教師の育成

筑坂SGH 3年間のながれ



1年生

産業社会と人間
(科目選択)

グローバルイイ (GCED)

カダ 校外学習・インドネシア語



2年生

4科目群の選択科目
海外卒研支援P

T-GAP (ソーシャルアクション・グループ)

国際FW・国際ESDシンポジウム



3年生

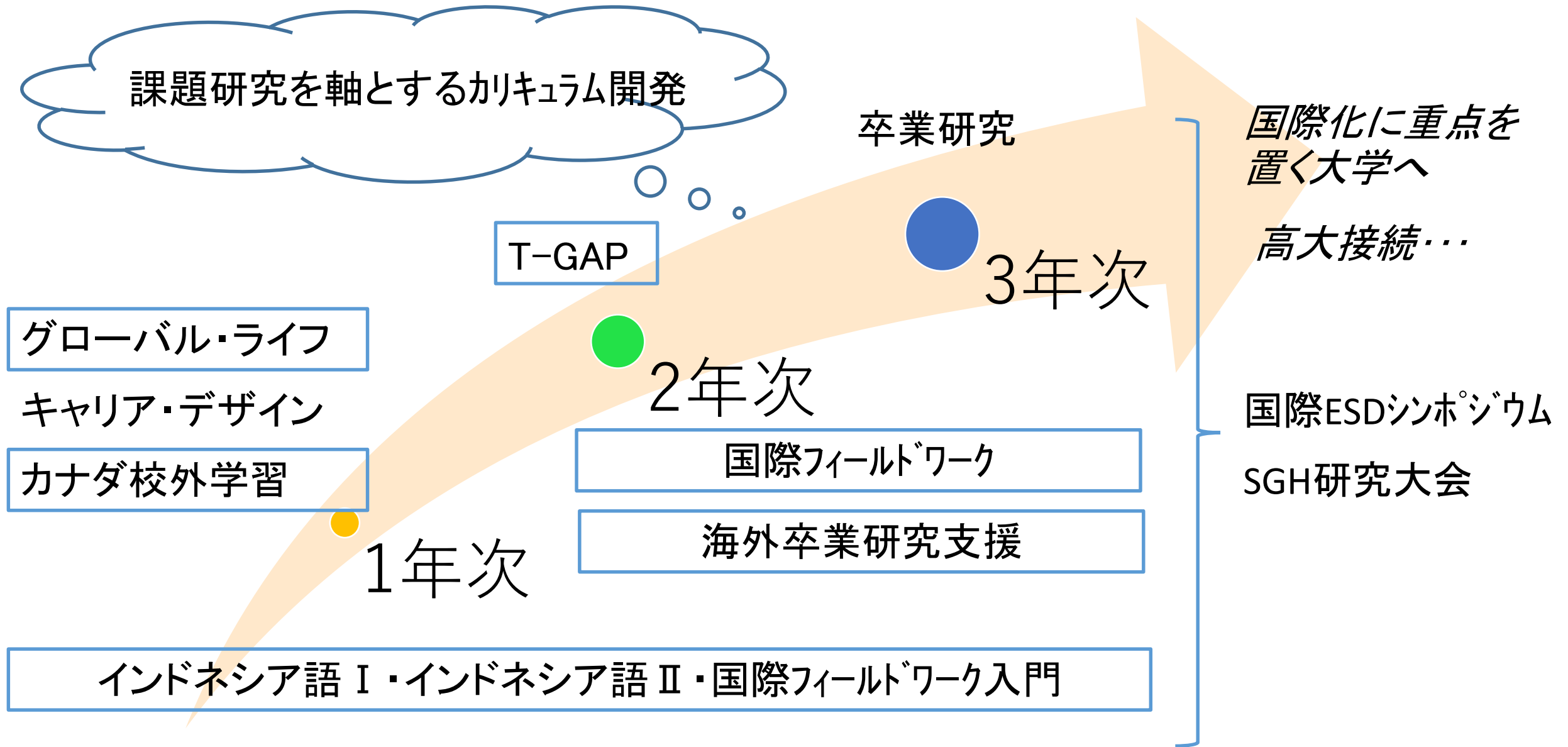
卒業研究

(個人で課題設定)

課題研究特別演習

高校版CinC

仮説と設計図ー課題研究に収斂するカリキュラムデザイナーー



国際FWを開発する際に大切にしたこと

協働力・当事者性の育成

- 現地の先生、高校生と一緒に取り組む
→ 協働力・当事者性の育成
- 見学、提案で終わらない
→ Study Tourから Field Workへ
- 次年度につながるものにする
→ プロジェクトの持続可能性と改善

共通課題の設定：森林の保全



2015年FW@スマトラ島プカンバル

日本にも破壊の原因が

パーム油と日常生活@グローバルライフ



現地校との協働



筑坂
総合学科

ボゴール農科大学
コルニタ高校
(2008年～)
普通学科

インドネシア環境林業省
附属林業高校
(2012年～)
専門学科

国際フィールドワークの全体像

< 事前 >

- ・ 生徒への周知・説明会（3月）
- ・ 書類と面接による選抜（4月）
- ・ 事前学習・合宿（5~7月）
- ・ インドネシアパートナー校とのスカイプ会議

< 実施 >

- ・ 3週間の滞在（8月）
- ・ 3校3テーマ編成（必ず、3校をミックスする）
- ・ インドネシア環境林業省、駐日インドネシア大使館と連携

< 事後 >

- ・ インドネシア環境林業省職員へのプレゼン
- ・ 高校生国際ESDシンポジウムでの発表（11月）
- ・ SGH研究大会・総合学科研究大会での発表（2月）
- ・ ボゴールリーダー会議で次年度への引継ぎ（3月）

国際フィールドワークの実施場所

インドネシア共和国西ジャワ州サロンゲ村周辺



選定理由：森林保全の問題が実際に発生している
インドネシア側の協力が得やすい
首都からアクセスしやすく生徒の安全確保が図れる

SGH5年間で作り上げた国際FWの形

1週間目（インドネシアを知る）

コルニタ高校
授業参加、交流会

国立公園
開発現場の現状視察

2週間目（自分たちで動く）

環境教育班
小中学校の巡回とESD
出前授業内容の検討

エコツアー班
国立公園のゴミ問題解決
と種の保全活動の実践

地域開発班
森の伐採によらない
ビジネスの提案

参加高校：筑坂、コルニタ、林業省附属校 各校 7名

3週間目（国際交流・研究交流・現場へ）

日本インドネシア高校生SDGs
ミーティング
@インドネシア環境林業省

現場訪問・企業との交流

教育班



エコツアー班



地域開発班



話し合い、話し合い、話し合う



一緒に計画をつくり



現場に赴き



そしてまた話し合い、話し合い・・・



現場で実践し、フィードバックを得る



それぞれの良さをいかして実践



プロジェクトの現場でPDCAを回すFW



班別の企画・議論
Plan (計画)



ビジターへの販売実践
Do (実行)



全体での振り返り
Check (評価)



農民への聞き取り Act (改善)

プロジェクト運用力・コミュニケーション力・言語運用力の向上

最後は、環境林業省職員へ発表



高校生が成し遂げたこと



高校生が提案し、実践したバナナペーパー (Non Timber Product)を地元の皆さんが継続的に活用

青年海外協力隊経験者からみても素晴らしい実績



SGHで意図していなかった変化

フィールドワークを実施した地域で、高校生の伝えた森林保全技術を地元民が自主的に継続して活用をはじめると



SGH活動が、日本の高校生のグローバル人材としての資質や能力を高めるだけではなく、実際に世界の持続可能な社会の構築に貢献する、可能性も示唆された。

国際フィールドワークの質向上への取り組み



現地校教員、政府機関、地元グループとの協働
(学校でできることは、学校で行う。
他者に丸投げしない。)

国際FW参加者の参加後の様子 1

卒業生の追跡例

平成26年度卒業生（SGH1年目）

- ・日本語パートナーズ事業等でアセアン各国で日本語教師として活躍（2名）

平成27年度卒業生（SGH2年目）

- ・大学の世界展開力強化事業に1年生から参加
- ・大学2年の2月から韓国に1年間留学

目的意識をもった大学進学

大学入学直後からの積極的な活動

まわりの友人を巻き込み大学キャンパスのグローバル化促進に貢献

国際FW参加者の参加後の様子 2

SGクラス1期生の例

- ・ ビジネスプランコンテストに参加し、途上国支援のモデルを考案し日本とバングラディッシュをつないで実践
- ・ インドネシアの非木材資源バナナペーパー活用のために、自ら現地にコンタクトをとり渡航し、技術習得と技術移転。JICA REDD++のプロジェクトにも参加
- ・ フィリピン大学附属高等学校に1年間留学。フィリピン大学への進学も検討中
- ・ インドネシア環境林業省附属高校へ日本人として初めて留学。熱帯林保全を学ぶために国立公園等で1年間奮闘

国際FW参加者の参加後の様子 3

当初意図していなかったもの

- ・ 国際フィールドワークに参加したインドネシア人高校生が筑波大学に入学
- ・ 協働プロジェクト参加校の学びの形にも波及効果
(探求型学習のひろがり、生徒の自主活動)

→SGH活動が他国のグローバルリーダー育成へ波及する可能性が示される。

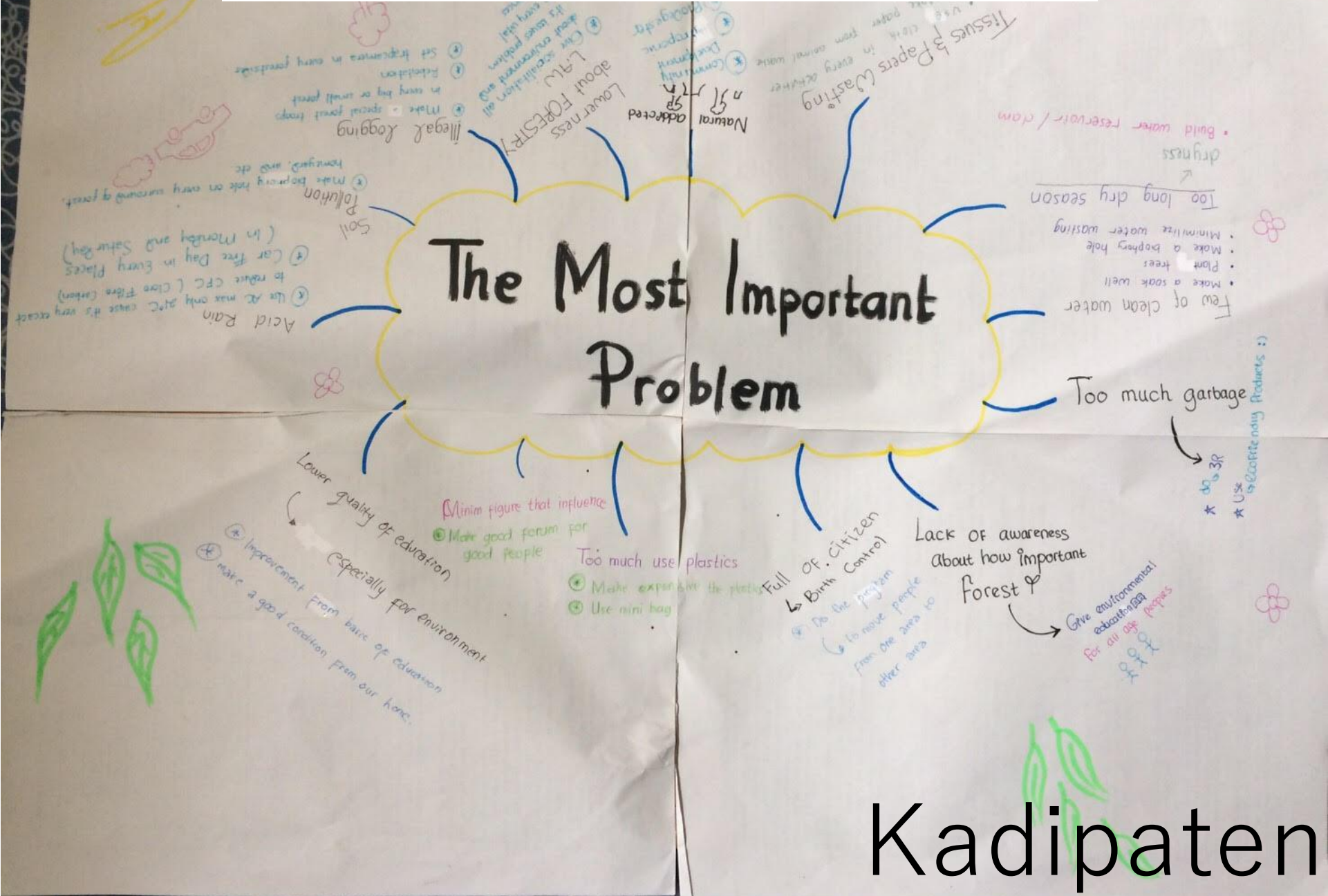
評価指標として、海外の協働活動パートナー校への影響もとらえる→H30に筑波大学附属学校教育局作成の国際資質尺度測定用紙短縮版を翻訳して実施

森林保全のアクションプランを考えるインドネシア人高校生



Kadipaten

インドネシアにおける探究学習の成果事例



Kadipaten

留学生交流の充実

- 高校生国際ESDシンポジウム・
第4回全国SGH校生徒成果発表会@東京
(11月の第2木曜日)
- 日本インドネシア高校生SDGsミーティング@ジャカルタ
(8月上旬)

高校生国際ESDシンポジウム・ 第4回全国SGH校生徒徒成果発表会@東京



生徒による運営



海外招聘者・留学生も参加
するポスターセッション



海外連携校の発表



企業ブースの設置



生徒による分科会

本校生徒は英語、留学生は日本語で司会

日本インドネシア高校生SDGsミーティング @ジャカルタ



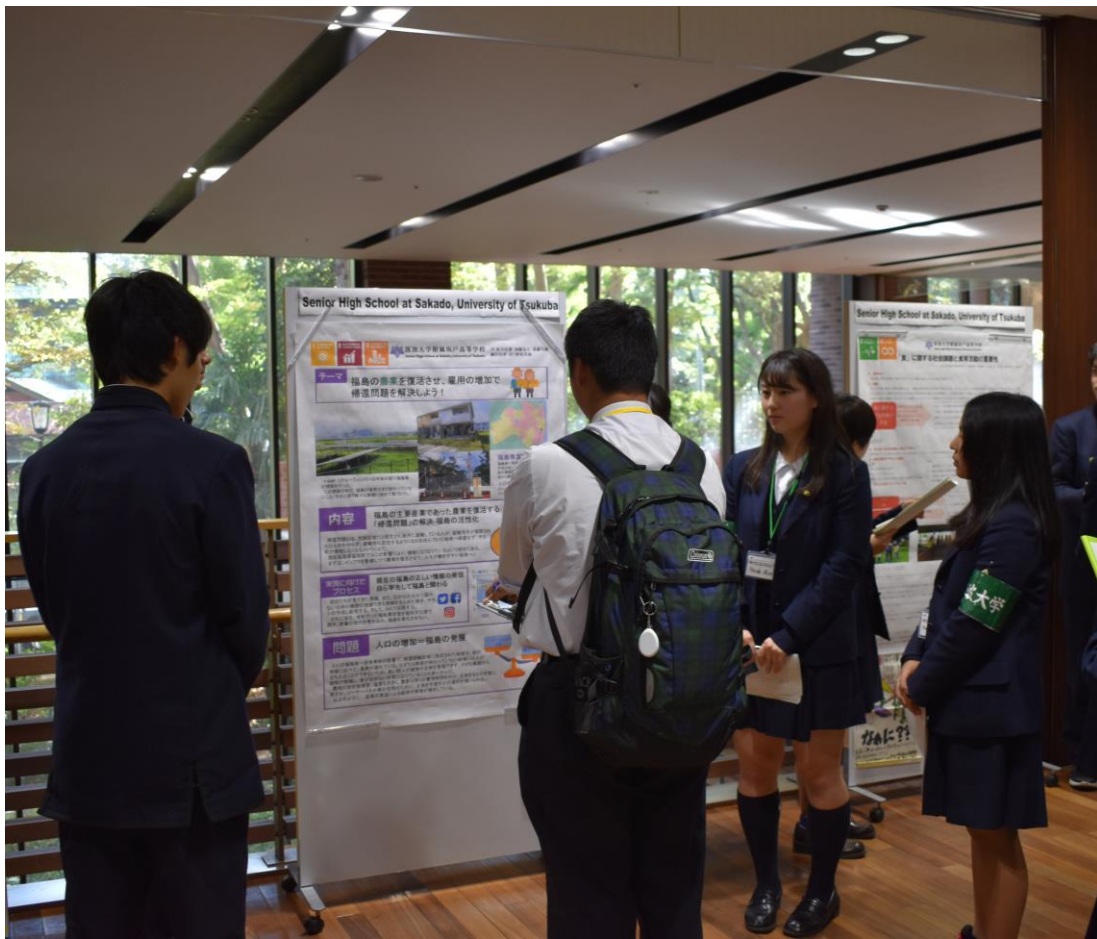
第1回日本インドネシア
高校生SDGsミーティング
@ジャカルタ (2017年8月)

大阪府立泉北高等学校,中部大学春日丘高等学校も参加
インドネシアの高校5校も参加。SGHネットワークを国内外で重層的に広げる





SDG s を、ESDを具体化し、 各学校をつなぐツールに



高校生国際ESDシンポジウム
全国SGH校生徒成果発表会



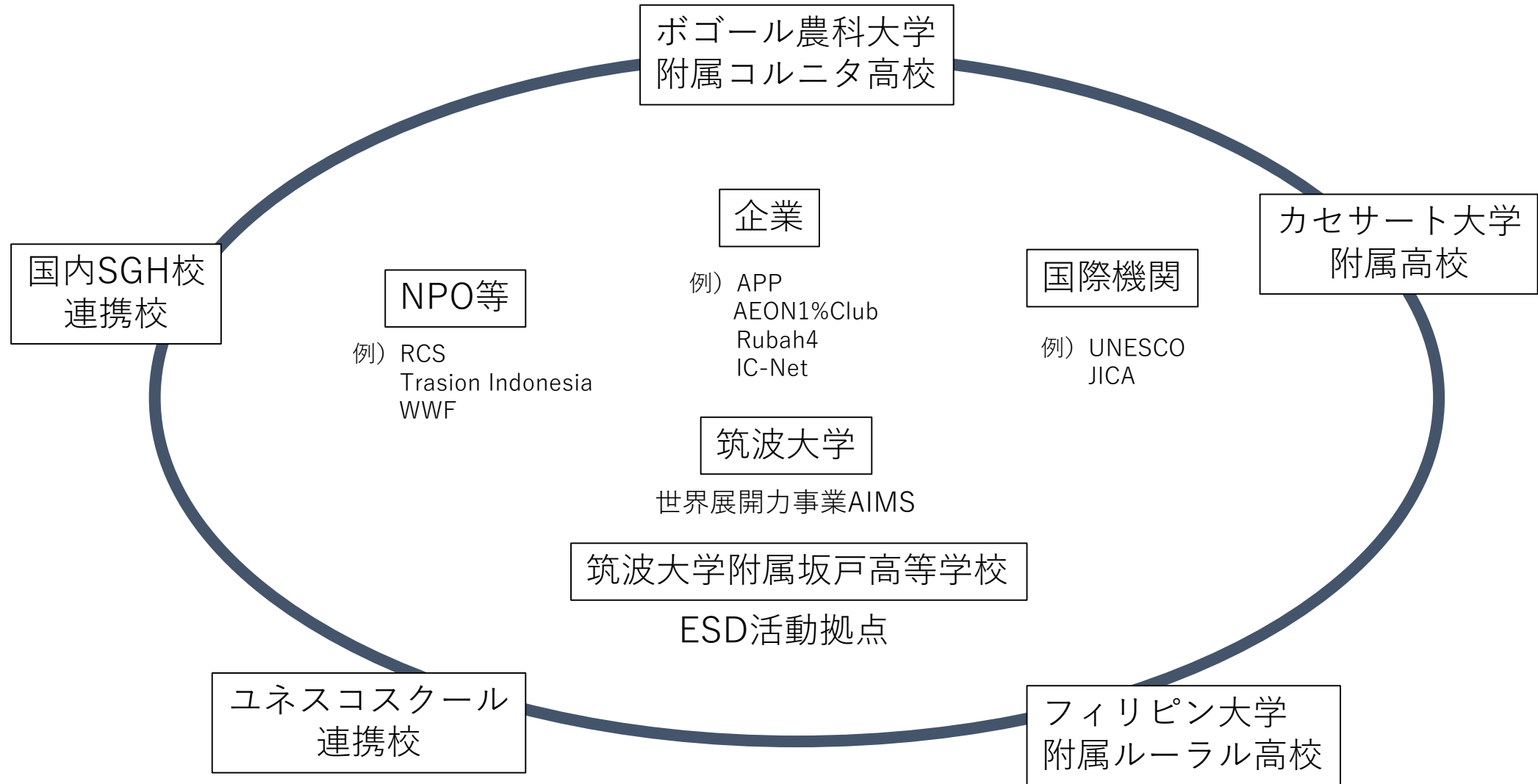
第1回インドネシア日本高校生
SDG s ミーティング@ジャカルタ

国を越えた高大接続について

- 国際連携協定校群によるIMAP（International Multilevel Academic Program）の開発

筑波大学および本校が有する、とくにアセアン地域の連携協定校ネットワークを「国際連携協定校群」ととらえ、国際交流だけにとどまらない国と学校種（高大院）をこえたアカデミックプログラムを開発・提供する。

JAPAN – ASEAN SGH Net Work イメージ図



探究活動の質向上にむけた相互連携例①



理化学研究所@埼玉県和光市



筑波大学研究施設訪問

フィリピン大学附属ルーラル高等学校
サイエンスインターンシップ@JAPANの支援

探究活動の質向上にむけた相互連携例②



一村一品運動に関する現地での聞き取り調査



国際研究機関での聞き取り調査

海外卒業研究プログラムへの支援@フィリピン

国内外の卒業生からの支援



アセアン分散型校外学習（計画中）

- 1年生の3月に実施予定
- 国際連携協定を締結している学校のある国を中心に渡航先を選択する。
- 現地に精通した企業と連携してプログラムを作成する。

現地の教員とやり取りできる教員の育成



経験年数、教科にこだわらない教員配置

関係性の継続的なケアを



1回交流しただけにしない

SGH5年の成果をさらに



「第7回高校生国際ESDシンポジウム」 「第4回全国SGH校生徒徒成果発表会」



本年も2018年11月8日（木）に開催します。ご参加、お待ちしております

ご清聴ありがとうございました

Terima kasih banyak!